

認知症作業療法 活動報告（概要）

（一社）岡山県作業療法士会は、平成27年度より認知症初期集中支援推進委員会を立ち上げ、平成30年度は認知症支援委員会として13名で活動している。事業目的は、「認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）」のなかで、日本作業療法士協会「認知症の人の生活支援推進委員会」と共同し、認知症に対応できる作業療法士の人材育成等を行う、であり、**1.** 認知症の人の生活支援推進委員会の認知症OT推進委員としての活動、**2.** 認知症アップデート研修の開催、**3.** 行政などへの広報活動、**4.** 認知症に関する社会資源等の情報収集および現状把握、**5.** その他、の活動を進めている。

人材育成事業

当士会は、「認知症生活行為支援実践者研修」を平成30年度より開始した。本研修制度は、①「認知症アップデート研修」、②「認知症の人を対象にした作業療法実践事例（以下、GP）報告会」、③「GP登録」、および④「MTDLP研修（基礎・実践ともに）」とし、①～④すべてを修了した会員を「認知症生活行為支援実践者」として認定する。

当士会は、「認知症生活行為支援実践者」と認定された会員を、認知症関連の研修会講師、ケア会議・介護予防等の地域派遣事業に推薦する。

表 認知症アップデート研修の実績

日程	参加者
平成29年1月	132名
平成30年6月	40名
平成30年9月	延期

会員数に対する
修了者の割合 = 14.9%

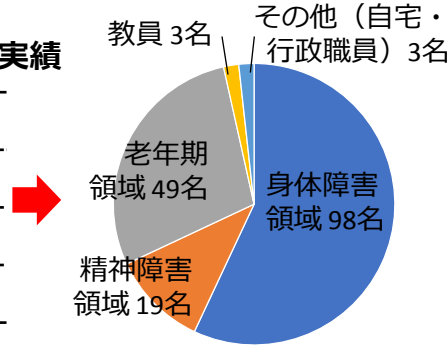


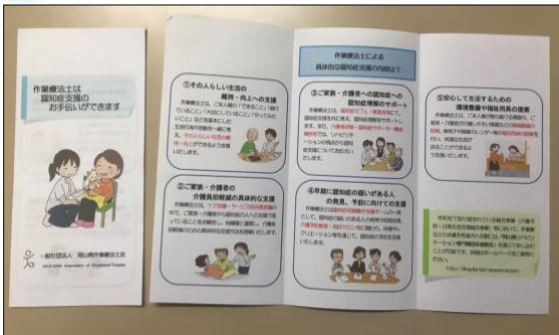
図 認知症アップデート研修の参加者区分

GP報告会の概要

日程：平成31年1月（予定）
参加人数：発表者20名（予定）
聴講者30名（予定）

*当士会HPに、認知症生活行為支援実践者研修制度マニュアルを公開

広報事業



当士会では、「OTは認知症支援のお手伝いができます」をテーマにOTの具体的な認知症支援の内容を記したリーフレットを作成し、地域ケア会議・介護予防・認知症初期集中支援など市町村で行われている事業を中心に、OTを活用していただくようPRしている。

その他事業

平成30年度より、他職種（医師・看護師・薬剤師・ケアマネなど）による認知症関連団体の研修会での講演やケアカフェへの参加により、OTを紹介し啓蒙活動を実施している。



今後の展開

- ・「認知症生活行為支援実践者」を育成し、地域派遣事業等に派遣出来るよう事業を継続する。
- ・地域派遣事業等の委託事業が受けられるよう広報活動等を継続する。